第

5

生活を送るため、 度から平成二十六年度までの第五期計画を策定しましたので、概要をお知らせします。 「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」 三年ごとに計画・策定しています。 は 市民の皆さんが健康で生きがいのある このほど、新たに平成二十四年

高齢介護課高齢福祉係 **1**336085

サービスは、介護を必要とデイサービスなどの居宅

する人が増えても、

必要な

保障制度の一つとなっていの生活を支える大切な社会 サービスを利用し、 十二年が経ちました。 介護保険制度が始まって 介護保険制度は着実に 一方で、 多く 0) 増え続ける 人が介護 私たち この

浸透し、

加することが見込まれま護を必要とする人の数も増に増えることに伴って、介第一号被保険者の数が急速 えることから、介護保険の代が間もなく六十五歳を迎また、いわゆる団塊の世 対応を迫られてきました。

など、

さまざまな問題への

ます。

保険給付費や、

したくても入れない待機者保険給付費や、施設に入所

介護サービスの充実、そし防や認知症高齢者のための 第五期計画では、 介護予

> 予防に努める必要がありまは、体が衰える前から介護立した生活を送るためにせいてもなお健康的で自 るための施設整備計画を盛者の縮減と期間の短縮を図て介護老人福祉施設の待機 介護予防の推進 り込んでい ます。

> > 層の充実に努めます。

居宅での生活が困難な場

に、

サ

ービス基盤整備の

利用できるようにするため ときに必要なサービスを

施する二次予防事業によめの専門のプログラムを実めの専門のプログラムを実めの専門のプログラムを実めの専門のプログラムを実めの事業と、介護取り組む環境づくりを支援 地域ぐるみで介護予防に 効果的な介護予防事業

五十

人も増加しています。

施設サービスは、

要介護

なり、三年前の調査に比べ五の人数は三百七十八人と

人で、

そのうち要介護四・

の待機者は、

八百九十二

の結果、介護老人福祉施設昨年七月に行った実態調査

用することになりますが、 合には、施設サービスを利

設を整備します。

また、

原則として市内に

縮減することを目標に 四・五の待機者数を半分に

掲

二つの介護老人福祉施

ムヘルプサ

介護サービスの充実 に取り組みます。 -ビスや

八百九十円 (二三・一%) 負人に第一号被保険者一人のた第一号被保険者一人のた第一号被保険者一人のが、単位を第一号被保険者のと、 どの影響によるものです。酬の改定(○・七%増)な用者の増加に加えて介護報見込まれます。これは、利 担が増えることになり八百九十円 (二三・一%) ま負

また、保険料を決定する上で、市がこれまで皆さんの保険料の一部を積み立の保険料の一部を積み立てきた基金から一億七千万円を取り崩すほか、県の基金から今期に限って特別に配分される限って特別に配分されるとで、急激な負担の増加をとで、急激な負担の増加をとで、急激な負担の増加をとで、急激な負担の増加をとで、急激な負担の増加を 緩和しています。

第 5 期計画期間中の第 1 号被保険者の所得段階別介護保険料						
所得段階	対象者		割合	月額	年額	
第1段階	生活保護受給者、老齢福祉年金受給者 で世帯全員が住民税非課税の人		0.50	2,375 円	28,500円	
第2段階	世帯全員が住民税非課税で、本人の課 税年金収入額と合計所得金額が合計 80万円以下の人		0.50	2,375 円	28,500円	
第3段階	世帯全員が住民税非課税で、第2段 階に該当しない人		0.75	3,562 円	42,700 円	
第 4 段階 (基準)	本人が 住民税 非課税	①公的年金収入金額と合計所 得金額の合計額が80万円以下 の人(軽減対象者)	0.95	4,512円	54,100円	
		①以外の人	1.00	4,750 円	57,000 円	
第5段階		注民税課税で、合計所得金額が 引未満の人	1.25	5,937 ⊞	71,200 円	
第6段階	本人が住民税課税で、合計所得金額が 200 万円以上の人			7,125 円	85,500 円	

※各段階別の年額=基準月額(4,750 円)×12 月×所得段階別の基準額に対する割合

4,750 円

を展開

してい

ます

し、各圏域ごとに介護事業域を日常生活圏域に設定

齢者の日常生活を地域全体などとの連携を強化し、高ボランティア団体、NPO医療機関、福祉関係団体、

域として、

市全体では十圏

域はそれぞれ一つずつの圏

り

ながら、介護保険事業者、

四つの圏域、

古川以外の地

センター

機能の充実を図

本市の場合、

古川地域を

設です

支えるための拠点となる施 まざまな側面から総合的に

ないように配慮しています。

ビスに地域格差が生じ

日常生活圏域を設定して することを理想に掲げて、

福祉

健康・

医療などのさ

は、

地域の高齢者を介護

支援センタ

供する地域包括ケアを確立療および居住を一体的に提

護予防・介護・生活支援・医

地域包括ケアシステム等の

み慣れた地域の中で、

護保険事業計

画で

は、

します

ービスの充実

り、高齢者の社会参動への参加の促進なボランティア活動、

高齢者の社会参加を促

への参加の促進などによランティア活動、地域活

一号被保険者の介護保険料

充実させます

を補う生活支援サー

-ビスを -ビス

第

に把握して、介護サー

要とされるサービスを的確

それぞれの圏域ごとに必

で

総合的に支援するシステ

ムの構築に努めます

(二〇·七%)増記をすると、約五三百六億円で、 ビ 計画期間 の総費 約五十三億 中の 介護サ

活動を推進するために、老高齢者の生きがいづくり活動の推進

スでは、認知症対応型共同用できる地域密着型サービ住んでいる高齢者だけが利

ビ 利

八福祉センター

における各

地域の老人クラブの活動を種教室の内容の充実と、各

支援します。

また、

高齢者の就労や、

認知症対応型共同

れぞれ二施設整備します。 機能型居宅介護事業所をそ 生活介護事業所と小規模多

被保険者の代表者、計画の進行管理

を行います。 委員会で、計画の進行管理者で構成する介護保険運営 ビス従事者、 学識経験 表者、介護

介護保険事業と高齢者福祉 検・評価を行い、より良各種事業の進捗状況の 業の展開に努めます。 数値目標の達成状況 や い点

第 5 期計画期間中の施設整備計画		
日常生活圏域	施設名(定員)	
古川中央地区	○介護老人福祉施設(定員 80 人) ○小規模多機能型居宅介護事業所(定員 25 人) ○認知症対応型共同生活介護事業所(定員 18 人)	
岩出山地区	○地域密着型介護老人福祉施設(定員 29 人) ○小規模多機能型居宅介護事業所(定員 25 人) ○認知症対応型共同生活介護事業所(定員 18 人)	

9 広報 おおてき 2012-4

(100円未満切り捨て)

介護保険料

基準月額